

今後の検討の進め方について

平成26年9月25日

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部
廃棄物対策課 災害廃棄物対策チーム

巨大災害発生時における災害廃棄物対策の検討体制及び主な検討事項

全国規模での動き

- 被災地を直接支援する体制を整備

巨大災害廃棄物対策チーム
【来年度以降常設すべく準備】

発災時現地支援者グループ
(独)国立環境研究所、廃棄物資源循環学会、自治体担当官、環境省担当官等で構成

- 巨大災害に限らず、比較的規模の大きい災害の発災時に、現地に派遣
- 東日本大震災等災害の処理経験を踏まえた知見・技術を整理、提供

民間事業者団体グループ
〔各種業界団体で構成〕

- 発災時に、民間事業者からの協力が必要な事項に係る支援要望に対応
- 民間事業者に係る分担・連携体制を具体的に検討、整備

連携

- 被災地の取組を支援する仕組み・枠組みを整備

巨大地震発生時における災害廃棄物対策検討委員会
【平成26年度】

- 全国レベルでの各主体の分担・連携体制を検討
⇒ 巨大災害発生時の廃棄物処理に係る行動指針を策定

アーカイブス検討WG

- 次の震災に向けた東日本大震災の知見・経験を共有
⇒ 東日本大震災の知見・経験をアーカイブ化

技術・システム検討WG

- 災害廃棄物の処理システムや技術を検討
⇒ 災害廃棄物の標準的な処理フローや災害時における海面最終処分場の円滑な利用促進*等、技術的課題について検討
※ 海面処分場廃止等に関する検討会にて検討。別途、国交省において検討会あり(H26～H28に実証試験を予定)。

- 今後の議論の進捗を踏まえ、必要に応じて、制度的な検討を行う。

連携 (地方支部の参画)

地方での動き

- 地域ブロック単位で災害廃棄物の処理に係る行動計画の策定に向けて検討
- 平時からの協力・協働の場を設置

地域ブロック協議会、連絡会

【立ち上げ時期】

- ・北海道…10/27
- ・東北…8/29
- ・関東…11/10
- ・中部…10/31
- ・近畿…12月上旬
- ・中四国…10/30
- ・高松…9/26
- ・九州…来年

各地の知見、ニーズ等を随時反映

検討事項・成果物（案）

目的

- ・ 巨大地震発生に備えて、地域ブロック毎に設置する地域ブロック単位での議論を踏まえ、廃棄物処理システムの強靱化に関する総合的な対策の検討を進める。
- ・ 具体的には、平成25年度の検討の結果、中間的にとりまとめた「巨大災害発生時における災害廃棄物対策のランドデザインについて」の具体化に向けた検討を行う。

ランドデザインに示されている検討項目

- ① 全国単位での災害廃棄物処理体制構築に向けた検討
- ② 地域ブロック単位での災害廃棄物処理体制構築に向けた検討
- ③ 制度的な対応に関する検討
- ④ 人材育成・体制の強化に関する検討
- ⑤ 災害廃棄物処理システムや技術に関する検討

本年度の検討事項・成果物（案）

成果物（案）

- ① 巨大災害発生時における災害廃棄物対策行動指針案
 - 環境省が当面実施すべき事項・内容
 - 地方ブロックにおける巨大災害発生時における災害廃棄物対策行動計画「策定」指針
 - ② 東日本大震災における災害廃棄物処理技術等に関するアーカイブ
 - ③ 巨大災害発生時における円滑な災害廃棄物処理に求められる制度的対応
- その他、ランドデザインの追補版として、災害廃棄物発生量推計の深化を行う（火災、し尿等）。

また、上記成果物の策定に向け、

成果物 ①に向け、

- ・ 各種民間業界団体への協力要請及び巨大災害廃棄物対策チームを構築。併せて、同チームの発災時現地支援者グループの支援活動マニュアル（一次案）を策定。
- ・ 技術・システム検討WGにて、災害廃棄物の標準的な処理方法等を検討。

成果物 ②、③に向け、

- ・ 地方ブロック単位での協議の場を開催し、アーカイブ作成や特例措置の検討に関して意見交換。

WGでの検討事項

【技術・システム検討WG】

☆土砂混合物の選別技術・システムに関する検討

- ① 土砂混合物の選別技術(処理装置等)のリスト化
- ② 標準処理フローの設定・グッドプラクティスの情報の分析
- ③ 受入れ先の規格・品質に関する事例整理
- ④ 処理対象物の性状や選別後の処理先を考慮した処理フローの計画手法の検討

☆発災後の処理の進捗に応じた要処理量を把握するための一連の手法

- ⑥ 火災による被害想定手法の確立
- ⑦ 地域ブロックの特性把握
- ⑧ 災害廃棄物発生量の算定や要処理量の試算、要運搬量の試算手法の検討

☆仮置場情報の整理

☆港湾エリアの活用に関する検討 等

【アーカイブス検討WG】

- ① 東日本大震災を対象としたアーカイブの作成(時系列取組表作成と重要事項の分析)
- ② 自治体や民間事業者等が求める情報の整理(東北事務所対応)
- ③ 業界団体の実績のアーカイブス化(廃棄物処理支援、災害協定等)
- ④ 今後の対策につながる関連情報の整理 等

技術・システム検討WG 委員

氏名		所 属	専門分野等
委員	勝見 武	京都大学大学院地球環境学堂（教授）	地盤環境工学、廃棄物処分、遮水材、跡地利用、建設リサイクル、土、地下水、汚染物質、地盤工学
委員	久田 真	東北大学大学院工学研究科（教授）	土木材料・施工・建設マネジメント
委員	藤原 健史	岡山大学廃棄物マネジメント研究センター（教授（副センター長））	環境システム工学、廃棄物工学、廃棄物マネジメント
委員	山田 正人	国立環境研究所（資源循環・廃棄物研究センター 廃棄物適正処理処分研究室長）	廃棄物管理、地球温暖化、中間処理技術、最終処分
委員	平山 修久	国立環境研究所（資源循環・廃棄物研究センター 研究開発連携推進室 主任研究員）	水道工学、環境・衛生工学、震災対策（災害廃棄物マネジメント、災害廃棄物発生量推計手法）

※必要に応じ、委員以外の知見を有する者から意見を聴取することができる。

アーカイブス検討WG 委員

氏名		所 属	専門分野等
委員	吉岡 敏明	東北大学大学院環境科学研究科（教授）	リサイクル工学、環境関連化学、無機化学
委員	浅利 美鈴	京都大学環境安全保健機構附属環境科学センター（助教）	環境工学全般、物質フローや消費者行動のモデル化
委員	多島 良	国立環境研究所（資源循環・廃棄物研究センター 循環型社会システム研究室 研究員）	環境影響評価、リデュース・リユース・リサイクル（3R）、廃棄物管理
委員	久田 真	東北大学大学院工学研究科（教授）	土木材料・施工・建設マネジメント
委員	奥田 哲士	広島大学環境安全センター（助教）	環境技術・環境材料、地球・資源システム工学、リサイクル工学
委員	佐々木 健司	岩手県（環境生活部廃棄物特別対策室 災害廃棄物対策課長）	—
委員	千葉 幸太郎	宮城県（環境生活部 震災廃棄物対策課長）	—
委員	遠藤 守也	仙台市（環境局 廃棄物事業部長）	—
委員	荒井 和誠	東京都（環境局 資源循環推進部 災害廃棄物処理事業担当係長）	—
委員	岩川 誠	愛知県（環境部 資源循環推進課 一般廃棄物グループ）	—
アドバイザー	大迫 政浩	国立環境研究所（資源循環・廃棄物研究センター長）	環境工学全般、廃棄物の循環利用、有害物質制御に関する技術開発・システム設計
	颯田 尚哉	岩手大学農学部共生環境過程（教授）	廃棄物と環境、環境計測学・環境計測実験・水資源論

※必要に応じ、委員以外の知見を有する者から意見を聴取することができる。